

『歴史地理教育』バックナンバー

御注文は、一般社団法人歴史教育者協議会事務局まで、FAXかメールでお願いします(送料は別途、代金は後払)。在庫品に限りがありますので、品切れの場合は、ご容赦下さい。

●日本の戦争責任と「慰安婦」問題に関連した特集号(在庫品)と主な内容

五五二号(一九九六年八月)

定価六六〇円(在庫8冊)

特集 日本の植民地

二〇世紀と日本の植民地支配―イギリス帝国史との比較から
平田雅博/植民地支配と経済発展 橋谷弘/言語政策からみた
日本の植民地支配 石剛/支配と言語の表現の問題 糟谷憲一
/植民地と占領地 江里晃/植民地支配をどう扱うか―台湾を
例に 森口洋一

五六六号(一九九七年八月)

定価六七〇円(在庫2冊)

特集 「自由主義史観」批判―日中戦争と戦争責任

憲法史観の確立を―現代史学習の課題 安達喜彦/「自由主義
史観」―どこから始まりどこへ行くのか 大日方純夫/盧溝橋
事件をどのようにとらえるのか 安井三吉/今、なぜ戦争責任
・戦後補償か 山田朗/日本軍隊の「特殊性」とその背景 藤
原彰/実践(小) 戦争学習をどう実践したか 手代木彰雄/実
践(中) 戦争責任を考える―「従軍慰安婦」問題を扱って 大
野一夫/実践(高) 「従軍慰安婦」問題を考える 浅井義弘

六五七号(二〇〇三年八月)

定価六八〇円(在庫17冊)

特集 どう伝える 戦争の記憶

インタビュ―元特攻隊員の語る戦争体験 信太正道(聞き手
・石出法太・村松邦崇)/実践(高) 元七三〇部隊員に聞く―
戦争体験の聞き取り 野口政和/戦争遺跡保存運動と戦争の記
憶 大日方悦夫/戦争の記憶をめぐる争い―前進のための批判
検討 菊地宏義/実践(小) ごめんなさい、ベトナム 金永文

六九三号(二〇〇五年二月)

定価六八〇円(在庫10冊)

特集 戦争学習と平和の意識

イギリス高校生との六〇周年記念研修 トレババー・アンダーソ
ン/実践(中・総合) 生き方をつくる「日本とアジアの歴史と
今」の学習―学年ぐるみで中国帰国生徒を支え励ます 飯島春
光/戦争学習における共感と共同 安井俊夫/第二次世界大戦
とドイツの歴史教育―錯綜する被害Ⅱ加害関係と歴史対話 川
喜田教子/戦争学習に何が必要か(上) 山田朗/歴史教育と歴
史叙述―被爆者の戦後体験から 今野日出晴

七三三号(二〇〇八年八月)

定価六八〇円(在庫20冊)

特集 戦争と特攻隊

戦争と特攻隊―いま、問われているもの 吉田裕/描かれた特
攻と事実のあいだ 山田朗/朝鮮人特攻隊員をどう考えるか
妻始美・野木香里/実践(中学歴史) 鹿児島における「特攻
の授業 山元研二/【小特集Ⅱ「慰安婦」を学ぶ若者】「慰安
婦」を学ぶ女子大生に「慰安婦」を学ぶ 福田秀志 他

七四八号(二〇〇九年八月)

定価六八〇円(在庫19冊)

特集 戦場の実相―兵士の死と生

なぜ、いま、「戦場」を問題にするのか 吉田裕/兵士の「戦
場体験」がもたらすもの―当事者性の発見 今野日出晴/傷痕
軍人と「しょうけい館」 東海林次男/戦場体験と歴史教育―
歴教協の研究・実践を中心に 古谷博/近藤一さんに学ぶ―二
つの戦場での加害体験証言 宮城道良